

野球をやっている時が一番楽しい

ボーイズリーグ

BOYS LEAGUE

渡邊 泰平
世田谷ボーイズ



優勝 石山

館林

「自信の足」で157人の頂点

中学生男子

「足に自信はあるので、1位になれると思ってました。余裕の表情で、冷静に振り返ったのは館林ボーイズ(群馬)の石山諒。14秒48の好タイムで参加157人の頂点を極めた。

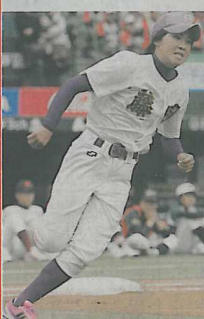
学校では陸上部に所属。昨年の夏の間東大会にも学校代表で100m走に出場した。その時は惜しくも予選落ちとなったが、自己ベストは11秒5。俊足は学生時代に野球をやっていた父、陸上をやっていた母譲りだ。

開会式が行われ、出場する東北関東甲信越の中学生159人、小学生24チームの計350人が元気に進んだ式後、第7回東北ボーイズリーグ大会と中学生の部、同戦2試合が行われ、戦いの幕を開けた。決勝戦は(7日・西武ドーム)小中ともに5月4日、埼玉・本庄市民球場で予定されている。



ベースランニング大会で優勝した(左から)館林・石山、県央高崎・米谷、相模・堀野、藤岡・高橋

順位	選手名	チーム名	記録
1	石山諒	館林	14.48
2	渡邊泰平	世田谷	14.85
3	堀野	相模	14.85
4	高橋	藤岡	14.88
5	米谷	県央高崎	14.90
6



高橋

川井とワンツー

中学生女子

27人が出場した中学生女子の部で頂点に立ったのは、藤岡ボーイズ(群馬)の藤岡・高橋。男子とト・川井菜月とのワンツー、フィニッシュを決め、あと1分5秒の残る表情を崩さず、バックと牛乳を愛する。

「この大会を目標に普段の練習からムダのない走塁を心がけてきた」という164センチの高橋は昨年春、全国選手権大会で投手兼外野手としてWBCで活躍した阪神・浅尾の機敏な守りに対抗して、1位を胸に胸に「強い気持ちで16秒75で駆け抜けた。将来の目標は日本代表。女子の硬派野球を自分でも感じたい」と高橋。男子と高橋は、自信を持って身体能力で夢を実現させる。



小学生女子の部を制した県央高崎・米谷

米谷

県央高崎

チームをPR

県央高崎ボーイズ(旧高崎ヤイアンツ)群馬の米谷菜月が、予想外の1位に輝いた。3月の大会で、外野手兼投手、打撃では6番に座る。3月のペガサス杯では、信濃大町戦で公式戦初ヒットを右翼へ運んだ。「もっと練習してホームランを打ってみたい」。11歳の夢は広がってきた。

選手名	チーム名	記録
渡邊泰平	世田谷	14.85
堀野	相模	14.85
高橋	藤岡	14.88
米谷	県央高崎	14.90
...

順位	選手名	チーム名	記録
1	高橋	藤岡	16.80
2